



特集 2

呉秀三を 読む

【現代語訳】 呉秀三・樫田五郎 精神病患者私宅監置の実況

精神科医療者の皆さんなら、「呉秀三」という名前と、「わが邦十何万の精神病患者は実にこの病を受けたるの不幸のほか、この邦に生まれたるの不幸を重ねるものというべし」という言葉を、一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。

実はこのフレーズ、今回現代語訳された『精神病患者私宅監置ノ実況』に出てくるものです。

呉秀三は、明治・大正の時代に精神病患者監護法で定められていた精神病患者の私宅監置義務を廃し、かれらが精神病院において医療を

受けられるための、新しい法制度を作ろうとした人物です。

政治家を動かすために呉が作成した調査報告書が、本書であったともいわれています。また、日本各地の座敷牢の実態をなまなましい姿で伝える本書は、民俗学、社会学的に貴重な資料でもあります。

今回、この本を4人の識者に読んでいただき、それぞれの観点から紹介していただきました。